



町長の行政報告を お知らせします

八峰町6月議会定例会が6月12日から14日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

- 6月議会定例会に
提出した主な議案**
- 八峰町一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例制定について
 - 八峰町特別職の職員等の給与の臨時特例に関する条例制定について
 - 八峰町過疎地域自立促進計画の一部変更について
 - 工事請負契約の締結について
 - 物品の取得について
 - 平成25年度一般会計補正予算253万7千円を減額するもの
 - 主な追加補正分
 - 一般コミュニティ助成事業補助金、コミュニティセンター建設工事設計委託料、予防接種補助金、耕作放棄地再生利用活動補助金、県営林道事業負担金、農林水産物直売施設用備品購入費、白神山地世界遺産登録20周年記念事業補助金、町道整備事業など
 - 主な減額補正分
 - 給与の臨時特例や職員共済組合の負担率変更などに伴う減額、学校ICT環境整備事業が起債適用の関係で工事費から委託料に変更したことによる減額など
 - 各特別会計補正予算
 - 八峰町目財産区管理委員の選任について
 - 人権擁護委員候補者の推薦について

春の行政協力員会議を開催 佐藤勇一 樫台自治会長が事例発表

春の行政協力員会議を4月19日に開催し、今年度の町の主要事業を説明してご理解と協力をお願いしました。会議では、自治会長との意見交換後、樫台自治会の佐藤勇一会長から「自主防災組織の立ち上げと活動について」と題して事例発表をしていただきました。また、各自治会とも今後の取り組みに大変参考になったことと思っています。



町営診療所が再開 歯科診療所は順調に推移

町営診療所は、4月12日から5月7日まで休診した後、週4日、おおよそ

2時間の診療時間で、5月8日に診療を再開しています。能代市山本郡医師会の多大なるご協力を得て、非常勤医師と能代山本医師会病院の派遣医師をお願いしています。管理医師は、能代市の三田医院、三田重人氏にお願いしており、能代市の樫坂クリニックスの樫坂英樹氏、秋田大学の医師、医師会病院の派遣医師と、常勤医師を確保するまでこの体制で診療します。

一日の診療時間が2時間程度と短いことや、火曜日の休診など、利用者にはご不便をおかけしています。5月31日までの集計は、診療日数15日間で、患者数302人となり、一日当たり20・1人となっています。懸案であります常勤医師の確保については、現在インターネットを利用した募集を行っている他、様々な情報収集に努力しています。医師不足の中で、厳しい状況ではありますが、引き続き常勤の医師確保に全力で取り組みます。町営歯科診療所は、3月27日に診療を再開しました。

5月31日までの集計は、診療日数46日間で患者数587人となり、一日当たり12・8人となっています。土曜日を診療日とし、月曜日を休診日としていますが、4月以降の土曜日の患者数も一回当たり12人を超えており、まずは順調に推移しています。

工会と八峰町観光協会が連携して白神アワビのまちづくり事業を行っていますが、この度、あわび料理認定試食会が行われ、町内の12店舗に、あわびグルメ料理認定の幟と認定書が交付されました。今後、各店舗自慢のアワビ料理を載せたまち歩きガイドマップを作成するなど、秋田DC本番に向け、アワビの里八峰町を大いに売り込むこととしていきます。



山地世界自然遺産登録20周年記念事業としては、最大規模となる平成25年度NHK公開番組「白神音楽祭」を8月31日土曜日に、御所の台ふれあいパークで収録する計画です。

6月1日からNHKがテレビ、ラジオのほかWEBサイト等で告知を開始しています。当日は県内外から多くの観客が訪れるほか、後日、NHK特別番組として放映される計画となっていますので、全国に、秋田県八峰町の名前と八峰白神の観光、物産を売り込む絶好の機会であると考えています。

町内12店舗を あわびグルメ料理認定店に

日本白神水産の養殖アワビを活用して地域活性化を図ろうと、白神八峰商

八森地区統合子ども園 工事がスタート

統合子ども園敷地造成工事については、4月19日に入札に付し、4月24日から8月30日を工期として工事を施工しています。

園舎新築工事、建築付帯工事、電気設備工事、機械設備工事の4件については、5月29日に入札を実施しました。このうち、機械設備工事を除いた3件は予定価格が5千万円以上となっていることから、工事請負契約の締結について、今議会に議案を提出しています。

世界自然遺産登録20周年記念イベント始まる 8月には「白神音楽祭」

6月1日、本町の世界自然遺産登録20周年記念イベント第1弾として、八峰町ルート山開き「二ツ森自然観察会ミネザクラをみよう」を、ぶなっくらンド森林科学館を主会場に開催しました。関係者や観察会参加者などが出席して安全祈願祭と式典を行った後、残雪を抱えた二ツ森山頂までのコースを八峰町白神ガイドの会員の説明を受けながら約50名が登山しました。

今年度は、秋の自然観察会のほかに、7月と10月に、1泊2日の「まるごと八峰自然体験ツアー」も開催することにしており、白神山地世界遺産登録20周年を大いにPRする計画ですが、更に、NHK秋田放送局と共催で、白神

し準備を進めてきました。数多くある生薬の中で八峰町の気候、風土に合う品目は何か、その品目の原産子を確保できるかどうか、栽培者が見込めるかどうか、また収穫された生薬を購入してくれる製薬会社があるかどうか、等々検討してきました。

生薬の製造や卸売りを手がけ、町の栽培指導を担当する金井藤吉商店が、これまで東京生薬協会に加盟する製薬会社に打診したところ、関心は示して頂いておりますが、八峰町で生産されている生薬を見ないと判断出来ないこともあり、今のところ龍角散以外、明確な回答を得られていないのが現状です。しかしながら、国産の生薬志向が強まっていることから、今後の市場拡大が見込まれています。

当面、町有農園での試験栽培にあたっては、購入先の製薬会社「龍角散」が必要とする品目を主体に置き、その他有望な品目を加えて進めていきたいと考えています。今年度の試験栽培内容については町広報に掲載し、生薬に関心のある方が随時見学できるように周知すると共に、試験圃場での説明会・講習会、勉強会に希望する農家等を加えて開催することとし、普及拡大に努めます。

今後は、製薬会社等の動向も見極めながら、品目の選定、絞り込みを行うことや、収量、生産コスト、管理面等々の課題をクリアして本栽培が可能な計画を検討します。



生薬栽培事業 町有農園で試験栽培始まる

生薬栽培は、遊休農地の解消や農家の経営安定を図るため取り組むこととし、平成25年度からの試作・試験栽培に向けて、昨年8月から勉強会を開催